

民報 あばしり

NO.852

2012.1.29

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三、四四五八
F 四三、四四五七

第5期介護保険料基準額は

4,713円で現在より

563円上昇案で決着

平成24年度から3ヶ年の網走市高齢者保健計画、網走市介護保険事業計画を市長に諮問する策定委員会は18日に第3回委員会を開催し、議論の末、保険料については次のように決めました。

※現段階（財政安定化基金の活用後）で保険料を算出した場合、第5期保険料の基準見込み額は5,025円（月額）で、第4期保険料の基準額4,150円（月額）より875円上昇する見込みから、第4期と同様、介護保健事業基金1億円を活用して保険料の上昇を抑え、4,713円にすることで了承された。

一人ぼっちをなくし心豊かな老後を！ 全日本年金者組合 網走支部大会開かれる！



一月二十一日、同支部の大会および新年会が開催され、同支部は結成以来八年目を迎えますが「楽しみ七分、活動三分」をモットーに消費税による最低保障年金制度の確立、後期高齢者医療制度の即時廃止等を中心として運動を進めてきています。同組合は少ない

第5期介護保険料の負担段階設定表

年金でぎりぎりの生活を余儀なくされている方々に声をかけ、パークゴルフ、カラオケ、麻雀などの例会、散策、お食事会などの行事をすすめています。大会では、一人ぼっちの高齢者に声をかけ、みんなで励まし合い、楽しみあうことと、年金、国保料、消費税：など暮らしに直接関わる問題に黙っていないで、主催者の一人として物申していくことを確認し合っていました。年金者組合だけでなく、国民みんなが生活して、心豊かな老後を迎えることができると日本を作っていくかなければなりません。日本共産党もさらに国民の暮らしを守るために頑張らなければと改めて痛感した大会でした。

いびき東奔西走

経団連の春闘方針を見てびつくりしました。ベースアップの実施は「論外」、定期昇給の「延期・凍結」もありうる、非正規雇用労働者だけの処遇改善は「不適当」、最低賃金引上げは「反対」等々、例年にも増して強い調子で賃上げの抑制を声高に打ち出しています。「失われた20年」いわゆる、長期にわたる日本経済の停滞が国内総生産（GDP）の約6割を占める個人消費をはじめ国内需要の不振が原因なことは政府や財界でさえ認めざるをえない程です。個人消費不振に労働者賃金が大半を占める雇用者報酬の伸び悩みであることも自明の理です。

企業だけが生き残ればいいと突き進んできた結果、一部の企業だけ肥え、内部留保が260兆円を超えています。労働総研という団体の試算では、企業が内部留保の4%弱を活用するだけで、月1万円の賃上げやサービス残業根絶など雇用条件の改善が実現でき、新規雇用が466万人増え、内需が拡大し、税収増も実現できます。国内需要の拡大に向け、大企業にその経済力にふさわしい役割を果たさすため、いまこそ政治の出番です。

松浦春戦メロ

先日、「しんぶん赤旗」に、在沖繩米海兵隊のグアム移転経費として日本政府が米国に支払っている資金のほとんどが使われず、約3億円の利息が発生していると書いていました。

これは防衛省が共産党の井上哲士参院議員に提出した米財務省の「勘定」（口座）から判明しました。2009年に合意されたグアム協定では、日本側は米側に国の財政から直接支出する分として28億ドルを支払い、米財務省はこれを受け取るための「小勘定」を日本の年度ごとに開設するそうです。防衛省が提出した09年度、10年度分の「小勘定」記録によると、09年度分の場合、日本側から3億3600万\$が支払われ、このうち米側が使ったのは923万\$、10年度にいたっては支払い金額4億9780万\$が手付かずのままです。そのことから利息が3億円も発生したというわけです。

これは、海兵隊移転を柱とするグアム増強計画が完全に行き詰っていることが、会計面からも浮き彫りになったのです。

流水

ネバー、ネバー、ネバー。決してあきらめないの「けっして」をこ丁寧に「四回も重ねて言った方がいらいっしょる。何をあきらめないのか」という消費増税の増税です。この方は09年8月の街頭演説で「マニフェストに」書いてあることは命がけで実行する。書いていないことはやらせない」と訴え、四年間は消費増税を上げないと約束しました。ところが、この方、首相になったとたん、国民に消費増税の説明もしないうちに諸外国との首脳会議で「消費増税」を約束してしまいました。国際公約だそうなんです。書いてあった「ハッ場ダム建設中止、子ども手当で支給など政策の目玉をことごとく投げ棄ててしまいました。あげくのはてに「書いていない」消費増税を命がけでやるというのですから耳を疑います。この方と政党は言うまでもなく「どじょう」と「民主党」です。疑いの余地はありません。この不景気に消費増税なんてとんでもない」という国民の声が過半数を超えたにあわてた副総裁が「消費増税は全部社会保障に使う」と言い始めました。消費増税は色が付いているわけでありません。社会保障のお金は消費増税だと国民にわかるはずありません。今までだって国民が納めた消費税を大企業の減税分とが殆ど同じで、社会保障費は減らされてきたのですから信用もできません。どじょうさん、国民だつていつまでも国の言うとおりになっていないよ。「政権交代」に失望し怒っています。消費増税なんて許しません。あの方より一回多くネバー、ネバー、ネバー、ネバー、ネバー、ネバー！とみんな立ち上がりましょう（〇）